

学長式辞

本日、桜の花も祝福するなか、山梨大学の学部・専攻科・大学院の卒業式・修了式を迎えた1,158名の皆さん、ご卒業誠にありがとうございます。

また、今まで皆さんを励まし、支えてくださったご家族の皆様方には、教職員・在学生一同を代表して、心からお祝いを申し上げますとともに、これまでの本学への厚いご支援に対し、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミック（世界的大流行）宣言から1年が経過しました。新型コロナワクチンの接種は世界各地で進み、山梨県内においても今月から医療従事者に優先接種が開始されました。しかしながら、感染は未だとどまるところを知らず、変異株の広がりもあり、私たちの日常生活に様々な影響をあたえ続けています。

こうした状況の中、感染の拡大を防止する観点から、新たな門出を迎える卒業生及び修了生、心待ちにしてこられたご家族の皆様方にとって、かけがえのない卒業式・修了式を一堂に会しての式典を縮小して、ここ大村智記念学術館の大村記念ホールを会場として、卒業生・修了生の代表者に学位記・修了証書を授与し、インターネットを通じてライブ配信をおこなうことにいたしました。Webでご覧の方々とともに皆さんのご卒業をお祝いしたいと思います。ご理解とご協力に心より感謝いたします。

夢を抱いて入学されてからの学生生活は、あっという間に過ぎ去ったと感じている人が多いのではないかと思います。この間、皆さんは、日々学問の研鑽を通じ、幅広い教養とともに多くの知識や技術を修得し、コロナの新たな苦難や様々な困難な状況を乗り越えながら、大きく成長されたことと思います。

また、研究室、部活動やサークル活動などを通じて、尊敬する先生、先輩、同輩、後輩の皆さんなど、様々な人たちとの出会いがあり、かけがえのない友人を得て友情を育み、よき思い出は心の宝になっているものと思います。

これらを糧にして、それぞれの新たなステージに進んでいってほしいと思います。

本学では、これまで多くの優れた卒業生・修了生を輩出してまいりました。2015年にノーベル医学・生理学賞を受賞された教育学部卒業生である大村智先生もそのお一人であります。ノーベル賞受賞の快挙は、地方国立大学にとってこの上ない朗報であり、山梨大学にとって大いなる誇りと励みになりました。

このご受賞を機に、大村先生からノーベル賞賞金の一部をご寄附いただき、加えて卒業生や一般市民の方々、企業・団体の皆様から温かいご支援をいただき「山梨大学大村智記念基金」を創設し、優秀な学生に対して給付型の奨学金を毎年授与することになりました。また、2018年7月には、ノーベル賞受賞を記念して、大村先生のご功績を永遠にたたえる「大村智記念学術館」が完成致しました。この記念学術館が学生・同窓生の皆さんや地域の皆様に愛される建物として有効に利活用されることを願い、これからも運営に努めてまいります。

本学医学部附属病院では、昨年1月には全国に先駆け新型コロナウイルス感染患者受け入れシ

ミュレーションを実施し、PCR検査体制をいち早く立ち上げるなど病院全体で万全な体制を整えました。クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号で感染した人々や県内第1例の患者さんも受け入れました。また、世界初の髄膜炎患者さん、心肺停止の乳児の患者さんなども経験し、国際誌に発表しました。本院は、県内発症の重症患者さんを積極的に受け入れてきました。更に高度医療の「体外式膜型人工肺」(エクモ)を使い、尊い命を救ってきました。これまで延べ90人を超える入院患者さんの治療にあたっています。さらに、県内初のドライブスルー形式のPCR検査を導入するなど、1万数千件のPCR検査を実施してきました。感染リスクの不安や収入減のリスクを背負いながら教職員一丸となってこの世界的な感染症と必死に闘っているところです。

私個人として、PCR検査体制の拡充をあらゆる機会を通じて訴えて参りました。今やっと、国もその重要性を認識し、感染抑制のための重要政策として取り入れているところです。

現在は、英国株を中心に変異株も増えてきておりますが、本院では自前で検査できるようになっております。今後はワクチン普及に積極的に協力していきたいと考えております。

コロナ禍で益々厳しい環境に置かれている地方国立大学ですが、本学は、全国に先駆けた様々な改革を実施しております。昨年は山梨県立大学との連携を進めるための一般社団法人「大学アライアンスやまなし」を本格始動させました。更に本年2月に「地域人材養成センター」を設立し、業務の効率化を図り、緊密な連携を推進しております。そして、一般社団法人「大学アライアンスやまなし」は、文部科学大臣が認定する「大学等連携推進法人」の国内第一号の認定を受ける予定であり、いよいよ新年度から連携開設科目の開設など、教学上の特例措置を活用することにより、多様な大学間連携事業を展開してまいります。

これらの大学改革への積極的な取り組みが、内閣府や文部科学省から高く評価され、一昨年度、内閣府からの国立大学イノベーション創出に関する補助金では、地方国立大学のなかで唯一採択され、2年間で3億円を獲得し、昨年は、文部科学省からの国立大学改革強化推進補助金として2億円を獲得するなど、数々の大型資金事業が採択をされております。

さらに歳出面の大幅な見直しを進めるために新たに設置した「市場調査チーム」を中心に経費節減プロジェクトを推進し、数億円の削減実績を残しています。これを原資に将来に向けた投資を行っていききたいと考えております。

「地域の中核、世界の人材」をキャッチフレーズに教職員一同力を合わせて質の高い教育・研究・社会貢献に誇りを持って取り組んでいきたいと思っています。

母校を温かく見守り、様々なご支援をお願いします。

現在の世界情勢は混沌としています。IoTやビッグデータ、AI、ロボットなどの新しいテクノロジーが引き起こす「第4次産業革命」、「デジタル革命」DX（デジタルトランスフォーメーション）によって世界経済が大きく変容している中、新型コロナウイルス感染症の猛威、地球温暖化に伴う気候変動、少子高齢化など、先行きが不透明で将来の予測が困難な状況が続くものと思われまます。

その一方で、持続可能な世界を実現するため、いわゆるSDGs（Sustainable Development Goals）（持続可能な開発のための目標）のもと、先進国と発展途上国が協調して地球規模での課題に取り組んでいくことも進められています。

こうした世界が抱える課題にも目を向け、その急激な変化に対応して行かなければなりません。

これからの超スマート社会（Society5.0）では、皆さんが現時点では想像もつかない仕事に将来従事することも考えられ、AIなどでは代替できない新たなアイデアや構想を生み出せる力が求められることとなってきます。また、人生100年時代となる一方で、急速な社会変化の中で、学んだ知識はどんどん陳腐化していくことから、絶えず新たな知識を学ぶことが必要になってきます。先日発足した大学発ベンチャー認定や女性支援のためのプログラムも立ち上げましたので、これからぜひ活用して欲しいものです。

皆さんを待ち受けている未来社会は必ずしもバラ色だけではなく、大変厳しいものであることも想像できますが、皆さんが本学における、学びを通して身につけた、課題解決力や、論理的思考力・規範的判断力を基盤として、今後も様々な形で学び続け、力強く社会の中で生きていってほしいと思います。

どうか自分を信じ、勇気をもって自分なりの人生を紡ぐために漕ぎ出してください。個人としての幸せを追求することはもちろんですが、同時に、高等教育を受けた者として、社会をよりよくするという使命感をもって生きていただきたいと思います。われわれ山梨大学も、皆さんの母校、港としていつでも適切な支援と生涯学習の場を sustainable に提供できるよう、教職員一同力を合わせて進んでいきたいと思っています。

ところで、今年も卒業生の中に世界9か国から来られた61名の留学生がいます。言葉はもちろんのこと、文化や習慣など、様々な面で大きく異なる環境下で修学することは大変困難であったろうと思います。それを乗り越えて本日を迎えられた皆さんを称え、英語でメッセージを送ります。

Among today's graduates are 61 international students from 9 different countries.

You have made it to this day after studying hard, and overcoming the difference of languages, lifestyle and food here in Japan.

I congratulate you on your great efforts, and I wish you every success in your future endeavors.

I hope that you will look back on time you had here in Yamanashi with fondness, and treasure the memories of the people you met and the things you learned at our university.

COVID-19 infection has spread all over the world, and the situation is still unpredictable. I believe that you can overcome difficulties and I wish you the best of luck in your endeavors.

Thank you.

（訳）

今年も卒業生の中に、世界各地の9カ国から入学した61名の留学生がいます。留学生の皆さんは、言葉や生活習慣、そして食べ物も異なる日本で学習し、本日の卒業式・修了式を迎えました。皆さんの努力に、心から敬意を表します。これからは、この美しい山梨の地で出会った多くの友、恩師や、本学で学んだ成果を大切にして、世界を舞台に活躍していただきたいと願っています。

COVID-19の感染拡大は全世界に広がり、未だ予断を許さない状況が続いていますが、私は皆さんが困難を克服できると信じています。

皆さんの健闘を祈ります。

結びになりましたが、皆さんが自分の人生は自分がつくるという自覚を持って、地域のため、日本のため、そして世界のために活躍されることを心より祈念し、私の式辞といたします。本日は、誠におめでとうございます。

令和三年三月二十三日
国立大学法人山梨大学
学長 島田 眞路